

第40回岩手県文化芸術振興審議会

日時：令和7年8月28日（木）14時00分～

場所：エスポワールいわて 特別ホール

次 第

1 開 会

2 挨 拶

3 新任委員紹介

4 議題

(1) 報告

「第4期岩手県文化芸術振興指針」について

(2) 議事

ア「第3期岩手県文化芸術振興指針」に基づく令和6年度の実施結果について

【資料1】

イ「第4期岩手県文化芸術振興指針」に基づく令和7年度の実施状況について

【資料2】

(3) その他

5 その他

6 閉 会

岩手県文化芸術振興審議会委員名簿

○ 第9期岩手県文化芸術振興審議会委員

（任期：令和8年10月31日まで）

No	氏名	所属・役職等	出欠
1	あずま 資 子 東 資 子	岩手県文化財保護審議会 委員 一関市教育委員会文化財課	○
2	いしだ と も こ 石 田 知 子	公益財団法人岩手県文化振興事業団 理事長	○
3	えんどう かずひこ 遠 藤 一 彦	岩手県民俗芸能団体協議会 副会長 岩手町郷土芸能団体協議会 会長	○
4	おがわ しげき 小 川 茂 樹	株式会社久慈設計 取締役専務執行役員	○
5	かみの ち え 神 野 知 恵	岩手大学人文社会科学部 准教授	×
6	かわさき ひろゆき 川 崎 広 幸	公益社団法人全国高等学校文化連盟 会長 岩手県立盛岡第四高等学校 校長	○
7	きのした じゅん 木 下 淳	MC メンタルケア心理相談室	○
8	こいわ ひろあき 小 岩 弘 明	岩手県文化財保護審議会 委員 一関市博物館	○
9	きとう きょうこ 佐 藤 恭 子	岩手県立大学盛岡短期大学部 准教授	×
10	しばた かずこ 柴 田 和 子	一般社団法人岩手県芸術文化協会 会長	×
11	たぐち ひろこ 田 口 博 子	岩手大学教育学部 非常勤講師 岩手県弦楽研究会 会員	○
12	たけむら なるき 竹 村 育 貴	岩手デザイナー協会 会長	○
13	ちば まり 千 葉 真 利	合同会社ホームシックデザイン アート事業部	○
14	にいぬま ゆうこ 新 沼 祐 子	盛岡市民文化ホール 館長	○
15	ひらきわ ひろし 平 澤 広	萬鉄五郎記念美術館 館長	○
16	ますぶち としゆき 増 淵 敏 之	法政大学大学院 教授	○

（令和7年8月1日現在、敬称略、五十音順）

○ 事務局（関係機関）

部局	所属・職	氏名	出欠
教育委員会事務局 生涯学習文化財課	上席文化財専門員	長 屋 敷 淳 史	○
盛岡広域振興局 経営企画部	主事	三 浦 あかり	○
県南広域振興局 経営企画部	主任主査	下 平 暢 樹	○
沿岸広域振興局 経営企画部	主事	伊 藤 栞	WEB
県北広域振興局 経営企画部	主任	江 莉 太 助	WEB

○ 事務局（文化スポーツ部）

部局	所属・職	氏名
文化スポーツ部	部長	菊 池 芳 彦
	文化振興課総括課長	和 田 英 子
	文化芸術担当課長	工 藤 一 幸
	主幹兼文化交流担当課長	米 澤 功 一
	世界遺産担当課長	半 澤 武 彦
	主任主査	菊 池 留 依 子

「第3期岩手県文化芸術振興指針」に基づく令和6年度の取組結果について

《施策の柱》

1 岩手の特徴を生かした文化芸術の振興と交流の推進 (1) 東日本大震災津波からの復興と文化交流の推進 (2) 世界遺産登録に向けた取組と保存管理・活用の推進 (3) 民俗芸能の保存・継承の支援 (4) 文化財等の保存と活用 (5) 文化をめぐる新しい動きへ対応した取組の推進 (6) 文化芸術を通じた交流の推進	2 県民誰もが文化芸術を鑑賞、参加、創造できる環境の整備 (1) 県民の文化芸術活動の推進 (2) 優れた芸術活動や美術活動への顕彰の実施 (3) 児童生徒の文化芸術の鑑賞の機会の提供と文化芸術活動の支援 (4) 若者の文化芸術活動の支援 (5) 高齢者の文化芸術活動の支援 (6) 障がい者による文化芸術活動の支援	3 日常生活を豊かにする文化芸術情報の発信 (1) 県文化芸術ホームページやSNSなどによる情報の発信 (2) 自治体広報誌・生活情報誌への文化芸術情報の掲載 (3) 国内外における公演や展示などへの支援 (4) 大型イベントなどを契機とした文化プログラムの実施	4 文化芸術活動を総合的に支援する体制の構築 (1) 文化芸術鑑賞・活動を支援するネットワークの形成 (2) 文化芸術を生かした地域づくりに取り組む人材の育成 (3) 岩手県文化振興基金による文化芸術活動の支援 (4) 県立文化施設の整備や機能の拡充 (5) 官民一体による文化芸術推進体制の構築	5 障がい者による文化芸術活動の総合的推進 (1) 障がい者による創作性あふれる創作活動の支援 (2) 文化芸術活動を発表・鑑賞できる機会の充実 (3) 県文化芸術ホームページやSNSなどによる情報発信 (4) 自治体広報誌・生活情報誌への文化芸術情報の掲載 (5) 岩手県文化振興基金による文化芸術活動の支援
--	--	---	---	--

番号	施策の柱との関連					事業名	事業概要	決算見込額 (千円)	取組結果
	1	2	3	4	5				
1		●				いわて暮らしの文化特別知事表彰	文化芸術活動を奨励するため、県民の日常生活に密着した文化的・芸術的な活動に、長年にわたり取り組んだ者等を対象とした顕彰を実施	207	・表彰式 R6.11.20 ・受賞者〔人〕 齋藤哲子〔場〕 喫茶ママ〔生業〕 塩釜馬具店
2			●		●	地域文化芸術活動支援事業費	本県の特徴ある文化資源を国内外に発信するため、ホームページ「いわての文化情報大事典」を運営	3,393	・ホームページ、Facebook、X（エックス）を活用した文化芸術情報を発信 ・ホームページ「いわての文化情報大事典」の見直しに着手
3	●	●	●			民俗芸能伝承促進事業	民俗芸能の保護・伝承活動の普及啓発を図るため、『北海道・東北ブロック民俗芸能大会』に本県の団体を派遣	556	・R6.10.27 『北海道・東北ブロック民俗芸能大会』（宮城県多賀城市） ・本県からは田代念佛剣舞（宮古市）を派遣
4		●				文化芸術創作活動奨励事業費	文化芸術活動を奨励するため、優れた芸術・美術活動を行った本県在住者等を対象とした顕彰を実施	915	・岩手県芸術選奨及び岩手県美術選奨について、選考委員を任命して選考委員会を開催 ・表彰式 R6.12.11 芸術選奨受賞者2名 美術選奨受賞者5名
5	●			●		いわてアーツコンソーシアム推進事業費	「官民一体による文化芸術推進体制」の構築の推進や、文化芸術を支える人材育成を実施	3,767	・「官民一体による文化芸術推進体制」に向けた関係団体等からの意見聞き取り等 ・文化芸術を支える人材の育成を目的とした「アートマネジメント研修」の開催（2回：R7.1.24、R7.2.5）
6	●					いわての文化国際交流推進事業費	国内外に本県の魅力を発信するため、マンガやアニメを活用した情報発信や交流事業を実施。	5,830	・『ミセテイワテ動画コンテスト』の開催 募集期間 R6.7.12～11.12 部門・応募数 チャレンジ部門（31秒以上3分以内）45作品 インスタ部門（30秒以内）944作品 入選作品数 23作品（※特設サイトで公開 https://miseteiwate.jp/ ） ・R6.4.2～5.17 私立学校エコー・アルザシエンヌ（フランス）の学生会館・図書館での「コミックいわて」作品展示 ・R6.7.28 中国・上海国際学校マンガ講座の実施 ・R6.9.8 中国・オンラインマンガ講座の実施 ・R6.9.11 ハロウ安比校でのマンガワークショップの実施 ・「コミックいわてWEB」で英語版2作品、フランス語版3作品を配信
7				●		地域文化芸術活動支援事業	4広域振興圏へ岩手県文化芸術コーディネーターを設置するなど、地域の文化芸術支援体制を整備	3,359	・4広域振興圏に文化芸術コーディネーターを設置 ・文化芸術コーディネーターが地域の課題を洗い出した上で、地域の実情に応じた文化芸術に係る地域課題の解決に向けた支援を行うための事業を実施 （地域課題及び地域活性化への取組に係るサポート事業、演劇表現ワークショップファシリテーター育成講座開催、地域の芸術文化活性化に向けた研修会開催、文化芸術団体の発表機会拡大のためのマッチング支援事業）
8		●		●		地域文化芸術活動体制整備事業費	中学校生徒数の減少が加速化するなど深刻な少子化が進行する中、生徒の文化芸術に親しむ機会の確保等のため、休日の部活動の段階的な地域移行の着実な実施に向けて、実証事業を実施し、成果を普及・発信	2,700	・一戸町で実証事業を実施 (1)活動内容：民俗芸能（1団体） (2)背景等：小学校の統廃合を見据え、卒業生が進学する一戸中学校生徒に対し、保存会が主体となって地域クラブ活動を行うもの（地域移行のほか、民俗芸能の伝承もテーマ）。
9		●				一般財団法人地域創造負担金	一般財団法人地域創造（地域文化の振興に資するための全国組織として設立）の運営費の一部を負担、同財団から県内文化芸術活動へ助成	5,941	・映像記録保存事業。財団から1事業733千円（一関市）が助成決定
10	●	●				復興の絆を活かした文化芸術による次世代育成事業	これまで本県と文化芸術団体が培ってきた東日本大震災津波からの復興の絆を活かし、県民が優れた文化芸術に親しむ機会の充実や文化芸術活動発表の機会を広げるとともに、沿岸被災地における地域コミュニティの再生と人的交流・文化的交流を促進 県内の子ども達と一流の文化芸術団体の共演等を通じて、子ども達が文化芸術に触れ合う機会を創出	6,677	・『楽しいオーケストラin岩手』の開催 場所：盛岡市（トーサイクラシックホール岩手 大ホール） 開催日：R6.8.5 ・『さんりく音楽祭』の開催 場所：沿岸地区4市町村 開催日：R7.3.29～31

《施策の柱》

1 岩手の特徴を生かした文化芸術の振興と交流の推進 (1) 東日本大震災津波からの復興と文化交流の推進 (2) 世界遺産登録に向けた取組と保存管理・活用の推進 (3) 民俗芸能の保存・継承の支援 (4) 文化財等の保存と活用 (5) 文化をめぐる新しい動きへ対応した取組の推進 (6) 文化芸術を通じた交流の推進	2 県民誰もが文化芸術を鑑賞、参加、創造できる環境の整備 (1) 県民の文化芸術活動の推進 (2) 優れた芸術活動や美術活動への顕彰の実施 (3) 児童生徒の文化芸術の鑑賞の機会の提供と文化芸術活動の支援 (4) 若者の文化芸術活動の支援 (5) 高齢者の文化芸術活動の支援 (6) 障がい者による文化芸術活動の支援	3 日常生活を豊かにする文化芸術情報の発信 (1) 県文化芸術ホームページやSNSなどによる情報の発信 (2) 自治体広報誌・生活情報誌への文化芸術情報の掲載 (3) 国内外における公演や展示などへの支援 (4) 大型イベントなどを契機とした文化プログラムの実施	4 文化芸術活動を総合的に支援する体制の構築 (1) 文化芸術鑑賞・活動を支援するネットワークの形成 (2) 文化芸術を生かした地域づくりに取り組む人材の育成 (3) 岩手県文化振興基金による文化芸術活動の支援 (4) 県立文化施設の整備や機能の拡充 (5) 官民一体による文化芸術推進体制の構築	5 障がい者による文化芸術活動の総合的推進 (1) 障がい者による創作性あふれる創作活動の支援 (2) 文化芸術活動を発表・鑑賞できる機会の充実 (3) 県文化芸術ホームページやSNSなどによる情報発信 (4) 自治体広報誌・生活情報誌への文化芸術情報の掲載 (5) 岩手県文化振興基金による文化芸術活動の支援
---	---	--	--	---

番号	施策の柱との関連					事業名	事業概要	決算見込額 (千円)	取組結果
	1	2	3	4	5				
11	●	●			●	障がい者芸術活動支援事業費 (障がい者芸術活動支援センター運営事業費)	障がい者芸術活動の振興を図るため、「障がい者芸術活動支援センター」を設置し、相談窓口の開設やワークショップによる支援者育成、権利保護に関する研修会の開催等、障がい者の文化芸術活動を総合的に支援	8,539	1 (社福) 岩手県社会福祉事業団に運営委託し、相談対応や各種研修会等を実施 2 『第32回岩手県障がい者文化芸術祭』を実施予定 (1)作品展示：R6.11.14～12.1 ふれあいランド岩手 (2)ふれあい音楽祭：R6.11.30 ふれあいランド岩手 (3)記念式典（表彰式）：R6.11.24 ふれあいランド岩手
12	●	●			●	いわてアール・ブリュット未来創造事業費	障がい者の創作意欲の醸成を図るとともに、県民の障がい者文化芸術への関心を高め、共生の土壌を拡大して岩手の魅力向上につなげるため、県内の優れた作品を集めた巡回展や、先進的な取組を実施している民間企業や作家を紹介する魅力発信イベントを開催	4,565	1 『アール・ブリュット巡回展2024』を実施 (1)盛岡会場：R7.1.13～27開催 (2)その他地域会場：R6.12.2～18開催 2 『ミライ発信イベント』を実施予定 盛岡市内でR7.1.13開催
13		●				高齢者文化活動振興事業費補助	高齢者による文化芸術活動の振興、生きがいと健康づくりを推進するため、『岩手県長寿社会健康と福祉のまつり』開催に要する経費を支援	1,836	・R6.6.6～9 岩手県民長寿文化祭作品展（盛岡市民文化ホール） ・R6.7.14 岩手県民長寿文化祭将棋大会（北上将棋センター） ・R6.12.8 岩手県民長寿文化祭囲碁大会（岩手教育会館）
14	●	●				いわての民俗芸能活性化交流促進事業費	民俗芸能の保存・継承や後継者の育成等を図るため、『民俗芸能フェスティバル』を開催	2,752	・R6.12.7 「岩手県民俗芸能フェスティバル」 会場：トーサイクラシックホール岩手（岩手県民会館）大ホール 出演団体：県内8団体 来場者数：約770人）
15		●			●	青少年芸術普及事業	子どもたちが等しく優れた文化芸術に触れる機会を確保するため、県内各地で開催される芸術鑑賞会に要する経費を支援	2,079	・14市町村18公演実施
16	●	●				被災地児童生徒文化芸術支援事業費	被災地における児童生徒の文化芸術活動の鑑賞を促進するため、文化芸術イベント等の参加に要する経費を支援	272	・R6.9.26 大槌町立吉里吉里中学校 （11名、県立美術館企画展「サンリオ展 ニッポンのカワイイ文化60年史」） ・R7.1.18 岩手県立岩泉高等学校 （15名、芸術体験フェスタ） ・R7.1.19 岩手県立高田高等学校 （9名、芸術体験フェスタ）
17	●	●	●			国民文化祭参加推進事業費補助	本県の文化芸術の全国への発信及び文化芸術団体の資質の向上を図るため、国民文化祭出演に要する経費を支援	35	・R6.10.14～R6.11.24 『「清流の国ぎふ」文化祭2024（第39回国民文化祭、第24回全国障害者芸術・文化祭）』に3団体（岩手県民オーケストラ、岩手県麻雀段位審査会、岩手県かるた協会）が参加
18	●	●			●	岩手芸術祭開催費	県民の優れた文化芸術活動の発表の場と鑑賞の機会を確保するとともに、文化芸術に親しむ機会の充実を図るため、本県最大の文化芸術の祭典『岩手芸術祭』等を開催	19,391	・R6.10～R7.2 県民会館をメイン会場として開催（美術展、舞台公演、等） ・R6.10.5 『総合フェスティバル』開催 ・R6.9.28～R6.9.29 肴町アーケード、R6.10.5～R6.10.6 トーサイクラシックホール岩手（岩手県民会館）において『芸術体験イベント』を実施 ・R7.1.17～19 釜石市民ホールTETTOを会場として芸術体験フェスタin釜石・大槌（仮称）を開催
19		●			●	文化芸術イベント等映像配信事業費（コロナ対応分）	文化芸術活動を推進するため、岩手芸術祭『総合フェスティバル』などの県主催事業等において配信を実施	3,557	・上記「岩手芸術祭開催費」、「いわての民俗芸能活性化交流促進事業費」、「いわてアール・ブリュット未来創造事業費」各事業での映像配信等を実施
20		●				文学の国いわて推進事業費	本県における文芸活動の振興を図るため、本県ゆかりの作家による講演会等を開催	2,369	・R7.2.11 作家・小砂川チト氏による「文学の国いわて」講演会の開催 ・R6.12.7、12.15、R7.1.25 高校生や大学生等を対象とした『文学の国いわて塾』を実施し、映像を配信（集合・オンライン形式）
21				●		県民会館管理運営費	岩手県民会館の管理運営に要する経費（指定管理料）	222,062	・指定管理者（（公財）岩手県文化振興事業団）による岩手県民会館の管理運営を実施
22				●		県民会館施設整備費	文化芸術活動の発表・鑑賞に係る安全・安心な環境づくりを推進するため、県民会館における改修等を実施	86,883	・自動火災報知設備更新工事の実施 ・電力制御中央監視装置更新工事設計業務の実施 ・ボイラー改修及び空調熱源更新工事設計業務の実施 ・無料休憩スペース木製家具製作業務委託の実施
23				●		公会堂管理運営費	岩手県公会堂の管理運営に要する経費（指定管理料）	20,891	・R7年度から第7期指定管理者（希望橋グループ）による管理運営を実施

<<施策の柱>>

1 岩手の特徴を生かした文化芸術の振興と交流の推進 (1) 東日本大震災津波からの復興と文化交流の推進 (2) 世界遺産登録に向けた取組と保存管理・活用の推進 (3) 民俗芸能の保存・継承の支援 (4) 文化財等の保存と活用 (5) 文化をめぐる新しい動きへ対応した取組の推進 (6) 文化芸術を通じた交流の推進	2 県民誰もが文化芸術を鑑賞、参加、創造できる環境の整備 (1) 県民の文化芸術活動の推進 (2) 優れた芸術活動や美術活動への顕彰の実施 (3) 児童生徒の文化芸術の鑑賞の機会の提供と文化芸術活動の支援 (4) 若者の文化芸術活動の支援 (5) 高齢者の文化芸術活動の支援 (6) 障がい者による文化芸術活動の支援	3 日常生活を豊かにする文化芸術情報の発信 (1) 県文化芸術ホームページやSNSなどによる情報の発信 (2) 自治体広報誌・生活情報誌への文化芸術情報の掲載 (3) 国内外における公演や展示などへの支援 (4) 大型イベントなどを契機とした文化プログラムの実施	4 文化芸術活動を総合的に支援する体制の構築 (1) 文化芸術鑑賞・活動を支援するネットワークの形成 (2) 文化芸術を生かした地域づくりに取り組む人材の育成 (3) 岩手県文化振興基金による文化芸術活動の支援 (4) 県立文化施設の整備や機能の拡充 (5) 官民一体による文化芸術推進体制の構築	5 障がい者による文化芸術活動の総合的推進 (1) 障がい者による創作性あふれる創作活動の支援 (2) 文化芸術活動を発表・鑑賞できる機会の充実 (3) 県文化芸術ホームページやSNSなどによる情報発信 (4) 自治体広報誌・生活情報誌への文化芸術情報の掲載 (5) 岩手県文化振興基金による文化芸術活動の支援
---	---	--	--	---

番号	施策の柱との関連					事業名	事業概要	決算見込額 (千円)	取組結果
	1	2	3	4	5				
24				●		公会堂施設整備費	文化芸術活動の発表・鑑賞に係る安全・安心な環境づくりを推進するため、公会堂における改修等を実施	5,178	・屋内消火栓ポンプ交換工事の実施
25	●					ソフトパワーいわて戦略推進事業費 (マンガ郷いわて推進事業費)	国内外で注目度が上昇している「マンガ」を活用し、民俗芸能、工芸、食文化など本県の魅力を発信するとともに、交流人口・関係人口の拡大に向けた取組を推進	13,200	・コミックいわてWEBで新作マンガ20作品の配信 ・R7.3.21 単行本「コミックいわてSaccola（サッコラ）」の発行 ・『第14回いわてマンガ大賞コンテスト』の開催 募集期間 R6.6.21～9.20 部門・応募数 一般部門（ストーリーマンガ）：43作品、1～4コマ部門：117作品、イラスト部門：74作品 入選作品 20作品（※一般部門の大賞・優秀賞、1～4コマ部門の最優秀賞・優秀賞は、コミックいわてWEBに掲載 https://comiciwate.jp/) ・R6.11.8～10 日本博2.0「アニメ＆まんが聖地SUMMIT&EXPO」へのブース出展
26	●					世界遺産価値普及事業費	世界遺産である「平泉」、「橋野鉄鉱山」及び「御所野遺跡」の理念・価値等の理解を促進するため、情報発信等の取組を実施	11,402	・知事や職員による『世界遺産出前授業』（実施校：33校、受講者：1,111名） ・R6.10.19～20「いわて世界遺産まつりin御所野遺跡」 会場：御所野縄文公園・核物館、来場者約1,000人） ・教員等を対象にした『世界遺産教員現地研修会』（各世界遺産で実施） ・世界遺産パネル巡回展の開催（県内8カ所、県外2カ所）
27	●					平泉世界遺産登録推進事業	「平泉の文化遺産」の世界遺産拡張登録に向けて、推薦書作成に係る研究や資料作成、専門家委員会の開催のほか、平泉の文化遺産を確実に保全するための保存管理の取組を実施	3,379	・世界遺産拡張登録に向けた推薦書（案）の作成 ・関係市町と連携して、世界遺産「平泉」及び関連資産の一体的な保存管理、調査研究、活用及び発信等を行っていくため、「ひらいずみ遺産」の取組を推進
28	●					世界遺産保存活用事業費	本県に所在する3つの世界遺産「平泉」「橋野鉄鉱山」「御所野遺跡」の保存管理及び活用の取組を推進	8,196	・3つの世界遺産が所在する市町と連携し、保存管理及び活用の取組を推進 ・「平泉」の資産の確実な保護を図るため、関係市町と連携し保存管理の取組を推進 ・「明治日本の産業革命遺産」の世界遺産協議会及び「北海道・北東北の縄文遺跡群」の縄文遺跡群世界遺産協議会の構成団体として、保存管理及び活用の取組を推進
29	●					「平泉の文化遺産」文化観光推進事業費	平泉の世界遺産及び平泉町・一関市・奥州市に所在する関連資産等の文化遺産を活用した文化観光に関する取組を通じ、関係人口の創出及び地域の活性化を図る	0	・関係市町や民間事業者等と連携しながら、令和7年1月に文化観光推進法に基づく地域計画として文化庁に認定された計画に沿って文化観光の取組を実施
30	●					平泉世界遺産ガイダンスセンター管理運営費	「平泉」の価値を広く世界中に伝え、人類の共通の財産として後世へと継承するための拠点施設となる岩手県立平泉世界遺産ガイダンスセンターの管理運営に要する経費	76,789	・R6年度来館者数 18,181人（個人15,390人、団体2,791人） ・R6.4.13～8.25 企画展「清衡の平泉-伊豆山神社の紺紙金銀交書経-」 ・R6.10.5～12.22 企画展「まじないと地域史 - Spells and Regional History -」
31				●		岩手県文化振興基金助成事業 ※岩手県文化振興事業団実施事業	県内の文化芸術活動の一層の活性化を促進するため、岩手県文化振興基金を基に、文化芸術団体が行う自主的活動に対する助成を実施	—	・応募件数 56件 25,447千円 ・採択件数 42件 16,537千円

第 3 期岩手県文化芸術振興指針に基づく令和 6 年度の取組結果について

令和 2 年 3 月に策定された第 3 期岩手県文化芸術振興指針に掲げる 5 つの「施策の基本的方向」の具体的施策の進捗状況を図るため設定した「指標」の実績と令和 2 ～ 6 年度の主な取組状況を取りまとめました。

なお、令和 6 年度の実績値は、暫定値です。

1 岩手の特徴を生かした文化芸術の振興と交流の推進

指標名	単位		R2	R3	R4	R5	R6
世界遺産等の来訪者数	千人	目標	927	937	950	712	805
		実績	444	417	693	778	807

- 世界遺産等の来訪者数は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を大きく受けましたが、令和 4 年度以降は、回復傾向にあります。

指標名	単位		R2	R3	R4	R5	R6
「世界遺産授業」の受講者数〔累計〕	人	目標	2,000	3,000	4,000	5,000	6,000
		実績	2,380	2,947	3,996	5,196	6,307

- 「世界遺産授業」の受講者数は、おおむね順調に受講者数を伸ばしており、世界遺産の価値普及に貢献しています。

指標名	単位		R2	R3	R4	R5	R6
文化遺産ネットワーク構成資産数〔累計〕	箇所	目標	5	10	10	15	20
		実績	0	25	25	25	25

- 文化遺産ネットワーク構成資産数は、令和 3 年度に 25 件（鉄文化ネットワーク）となり、目標を達成しています。

指標名	単位		R2	R3	R4	R5	R6
民俗芸能ネットワーク構成団体数	団体	目標	396	396	396	393	393
		実績	404	393	393	422	429

- 民俗芸能ネットワーク構成団体数は、微減していましたが、令和 5 年度及び令和 6 年度に民俗芸能団体連合組織の新規加盟があったため、団体数が増加しました。

指標名	単位		R2	R3	R4	R5	R6
岩手県民俗芸能フェスティバル鑑賞者〔累計〕※	人	目標	1,600	5,455	7,505	11,015	14,655
		実績	1,232	6,680	8,756	12,308	16,463

※ R3 以降の実績値には、オンライン鑑賞者を含む。

- 岩手県民俗芸能フェスティバル鑑賞者数は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を受けましたが、令和 3 年度からオンライン配信を開始したことで鑑賞者が増加しました。

指標名	単位		R2	R3	R4	R5	R6
国、県指定文化財件数	件	目標	573	577	581	580	583
		実績	572	574	579	584	588

- ・ 国、県指定文化財件数は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響によって生じた指定推進調査の遅れにより、県文化財保護審議会に諮問できなかったため、令和2年度から令和4年度までの間は、目標値に届きませんでしたが、令和5年度からは目標を上回りました。

指標名	単位		R2	R3	R4	R5	R6
コミックいわて WEB 訪問者数	人	目標	190,000	193,000	196,000	199,000	202,000
		実績	156,219	184,304	114,080	144,341	192,495

- ・ コミックいわて WEB 訪問者数は、若年層にも人気のあるコミックいわて初執筆の漫画家の作品を掲載し、令和6年度の実績は前年度から大きく伸びましたが、情報発信の手段が限られるなどPR機会の不足等により目標値に届きませんでした。

指標名	単位		R2	R3	R4	R5	R6
「食の匠」組織による食文化伝承活動回数	回	目標	30	32	34	36	38
		実績	16	30	32	41	38

- ・ 「食の匠」組織による食文化伝承活動回数は、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響を受けましたが、令和3年度、令和4年度には動画活用するなど伝承活動を推進し、令和5年度は目標を上回る活動を行いました。

指標名	単位		R2	R3	R4	R5	R6
観光客数(歴史・文化に関する観光地点での入込客数)	千人	目標	3,355	2,144	3,375	2,440	2,760
		実績	2,144	1,638	2,266	2,939	3,442

- ・ 観光客数(歴史・文化に関する観光地点での入込客数)は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による国内外の移動制限や外出自粛の影響により、令和2年度から令和4年度までの間は目標値に届きませんでしたが、その後回復傾向にあり、令和5年度からは目標を上回りました。

【その他の取組状況】

- ・ 復興の絆コンサート、さんりく音楽祭、楽しいオーケストラ in 岩手などの復興の絆を生かしたコンサートを開催しました。
- ・ 令和5年に本県と公益財団法人日本フィルハーモニー交響楽団が、クラシック音楽の普及と音楽活動を通じた岩手県の文化芸術の振興を図ることを目的とした連携協定を締結しました。
- ・ 令和3年に御所野遺跡を含む北海道・北東北の縄文遺跡群が世界遺産に登録され岩手県内の世界遺産が3か所になりました。

- ・ 令和4年に永井の大念仏剣舞、鬼剣舞を含む風流踊がユネスコの無形文化遺産に登録されました。
- ・ 令和3年に平泉世界遺産ガイドセンターが開館しました。また、平泉の文化遺産を活用した文化観光を推進するため、いわて平泉歴史文化観光地域計画を取りまとめ、令和7年1月に文化観光推進法に基づく地域計画として認定されました。
- ・ 岩手県民俗芸能フェスティバルの開催や北海道・東北ブロック民俗芸能大会への団体派遣などを通じて、民俗芸能の鑑賞の機会と発表の場を確保しました。
- ・ 令和2年度から令和4年度までの間に開催された岩手県民俗芸能フェスティバルでは、首都圏の民俗芸能団体との交流を行いました。
- ・ 地域の景観点検や景観学習を行ったほか、まちづくりアドバイザーの派遣を実施しています。
- ・ 著名料理人を招へいした産地視察やフュージョンディナーと体験がセットになった三陸フュージョン料理ツアーを令和4年度に実施したほか、HP等を活用し、郷土食の情報発信を行っています。
- ・ 令和3年度には、東北ディスティネーションキャンペーンの機会を生かし、地域の事業者等と連携して民俗芸能や重要文化財などを活用した特別企画を実施するとともに、各コンテンツを生かした広域周遊モデルルートの設定や東北ディスティネーションキャンペーン特設サイト等での情報発信を行いました。

2 県民誰もが文化芸術を鑑賞、参加、想像できる環境の整備

指標名	単位		R2	R3	R4	R5	R6
岩手芸術祭参加者数※〔累計〕	人	目標	49,000	71,000	93,000	113,000	133,000
		実績	41,796	55,221	77,010	99,295	122,259

※ R3以降の実績値には、オンライン鑑賞者を含む。

- ・ 岩手芸術祭参加者数は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を受けましたが、令和3年度から総合フェスティバルのオンライン配信などを実施し、令和4年度以降はおおむね順調に推移しています。

指標名	単位		R2	R3	R4	R5	R6
県内の公立文化施設※における催事数	件	目標	1,358	1,372	1,385	1,223	1,305
		実績	583	997	1,064	1,798	1,578

※ R4以前:12施設、R5以降:14施設

- ・ 県内の公立文化施設における催事数は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う休館、入場制限や活動自粛等により、大きく影響を受けましたが、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行された令和5年度は回復しています。

指標名	単位		R2	R3	R4	R5	R6
文化施設入場者数※	千人	目標	172	174	176	126	145
		実績	161	33	77	128	162

※ 岩手県公立文化協会所属文化施設における自主事業の入場者数

- 文化施設入場者数は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う休館、入場制限や活動自粛等により、大きく影響を受けましたが、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行された令和5年度は、催事数、入場者数ともに回復しています。

指標名	単位		R2	R3	R4	R5	R6
子どものための芸術家派遣事業公演数 〔累計〕	件	目標	131	198	266	328	392
		実績	115	172	244	307	360

- 子どものための芸術家派遣事業公演数は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による影響を受け目標値に届きませんでしたが、令和4年度以降は回復傾向にあります。

指標名	単位			R2	R3	R4	R5	R6
様々な文化芸術に触れ、文化芸術に興味をわいたと感じている児童生徒の割合（小・中・高校生）	%	目標	小	74	76	77	72	73
			中	74	76	78	69	70
			高	82	84	86	77	79
		実績	小	72	69	71	69	71
			中	68	65	68	64	65
			高	—	68	69	76	80

- 様々な文化芸術に触れ、文化芸術に興味をわいたと感じている児童生徒の割合は、文化芸術に関する鑑賞会等を実施する学校はコロナ禍に比べ増加しましたが、各学校において学校行事の精選等の教育課程の見直しが進んでいる中で、伝統芸能活動に取り組む機会が減少するなどの影響があり、目標値に届きませんでした。

指標名	単位		R2	R3	R4	R5	R6
岩手県障がい者文化芸術祭出展数 〔累計〕	件	目標	635	960	1,290	1,635	1,980
		実績	701	1,037	1,394	1,756	2,098

- 岩手県障がい者文化芸術祭出展数は、毎年度目標値を超える出展があり、障がい者の創作活動が活発に行われています。

【その他の取組状況】

- 復興の絆を生かして開催するさんりく音楽祭や楽しいオーケストラ in 岩手では、県内の児童・生徒がオーケストラと共演するなど、次世代育成の取組を進めています。
- 若者の文化芸術活動を支援する若者文化振興事業費補助の実施やいわてネクス

トジェネレーションフォーラムの開催により、若者の活動内容を県内外に発信しています。

- ・ 高齢者が文化芸術活動に参加できる環境づくりを進めるため、岩手県民長寿文化祭を開催しています。

3 日常生活を豊かにする文化芸術情報の発信

指標名	単位		R2	R3	R4	R5	R6
文化情報関連 SNS フォロワー数※	人	目標	5,300	5,600	5,900	11,600	12,000
		実績	5,273	5,636	6,060	11,673	11,925

※ フォロワー数をカウントしている SNS の種類 R4以前:3、R5以降:7

- ・ 文化芸術関連の SNS フォロワー数は、順調に増加しています。

指標名	単位		R2	R3	R4	R5	R6
「いわての文化情報大事典」ホームページ訪問者数	人	目標	411,000	414,000	417,000	420,000	423,000
		実績	355,425	437,297	416,409	452,442	401,589

- ・ 「いわての文化情報大事典」のホームページ訪問者数は、当該大事典の各種 SNS に動画等のコンテンツを掲載し、ホームページを訪問せずに情報にアクセスできる構成としたことから、令和2年度は訪問者数が伸びませんでした。令和3年度以降はおおむね順調に推移しています。

【その他の取組状況】

- ・ いわてマンガプロジェクトにより、本県の魅力を国内外に発信しています。また、本県の魅力を発信する事業として、ミセタイワテ動画コンテストなどを実施しました。
- ・ 県立美術館・県立博物館では、ホームページや SNS、テレビ、ラジオなどを通じて、企画展やイベントの周知等を行っているほか、美術館では所蔵品の画像での公開、博物館ではバーチャルツアーの公開など WEB を活用した取組を実施しています。

4 文化芸術活動を総合的に支援する体制の構築

指標名	単位		R2	R3	R4	R5	R6
岩手県文化芸術コーディネーターの活動件数〔累計〕	件	目標	815	1,730	2,265	2,805	3,350
		実績	1,196	1,824	2,600	3,314	3,461

- ・ 岩手県文化芸術コーディネーターの活動件数は、順調に増加しています。

指標名	単位		R2	R3	R4	R5	R6
アートマネジメント研修参加者数〔累計〕※	人	目標	80	113	153	203	253
		実績	57	124	185	254	322

※ R3以降の実績値には、オンライン参加者を含む。

- アートマネジメント研修参加者数は、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けましたが、令和3年度から参加者はおおむね順調に推移しています。

指標名	単位		R2	R3	R4	R5	R6
県立文化施設(県民会館、県立博物館、県立美術館)の利用者数	人	目標	453,500	193,000	462,500	429,000	440,000
		実績	188,966	340,028	390,068	604,650	371,788

- 県立文化施設の利用者数は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、休館、利用制限や活動自粛など影響を大きく受けましたが、令和5年度以降は、回復傾向にあります。

【その他の取組状況】

- 新型コロナウイルス感染症の影響により県立文化施設の利用機会が減少したことから、利用料金収入減少等に伴う減収分について指定管理料の増額を行いました。
- 新型コロナウイルス感染症による影響を受けた文化芸術団体の活動を支援するため、いわて文化芸術活動支援事業費補助及びいわて文化施設利用促進事業費補助を実施しました。
- 岩手県文化芸術コーディネーターを県内5か所に配置し、文化芸術活動に係る相談に対応しました。令和6年度からは、新たに市町村ヒアリングや地域課題の解決に向けた支援など、地域の実情に合わせた支援に取り組んでいます。

5 障がい者による文化芸術活動の総合的推進

指標名	単位		R2	R3	R4	R5	R6
【再掲】岩手芸術祭参加者数〔累計〕※	人	目標	49,000	71,000	93,000	113,000	133,000
		実績	41,796	55,221	77,010	99,295	122,259

※ R3以降の実績値には、オンライン鑑賞者を含む。

- 岩手芸術祭参加者数は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を受けましたが、令和3年度から総合フェスティバルのオンライン配信などを実施し、令和4年度以降はおおむね順調に推移しています。

指標名	単位		R2	R3	R4	R5	R6
【再掲】岩手県障がい者芸術祭出展数 〔累計〕	件	目標	635	960	1,290	1,635	1,980
		実績	701	1,037	1,394	1,756	2,098

- ・ 岩手県障がい者文化芸術祭出展数は、毎年度目標値を超える出展があり、障がい者の創作活動が活発に行われています。

指標名	単位		R2	R3	R4	R5	R6
岩手県障がい者音楽祭参加団体数※	団体	目標	16	17	18	10	12
		実績	—	5	10	16	18

※ R3 はオンラインでの実施。

- ・ 岩手県障がい者音楽祭参加団体数は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を大きく受けたため、令和2年度から令和4年度までは目標値に届きませんでした。令和5年度以降の音楽祭も感染拡大防止対策を行いながらの開催となりましたが、コロナ禍前を上回る参加団体数となっています。

指標名	単位		R2	R3	R4	R5	R6
障がい者文化芸術活動支援者育成研修受講者数〔累計〕	人	目標	80	120	160	205	250
		実績	138	179	216	248	306

- ・ 障がい者の文化芸術活動支援者育成研修受講者数は、概ね順調に推移しています。

【その他の取組状況】

- ・ 障がい者芸術活動支援センター「かだあると」を設置し、障がい者の文化芸術活動に係る相談対応、創作活動を支援する職員等の育成や相互のネットワークを形成するための意見交換会やワークショップを開催しました。
- ・ 障がい者の権利保護に関する研修会、施設事業所等の管理者に対する普及啓発のための研修会を実施し、障がい者が文化芸術活動に取り組むための支援体制の充実を図りました。
- ・ いわてアール・ブリュット巡回展を開催したほか、令和4年には首都圏で作品展示を行い、本県のアール・ブリュットの魅力を県外に発信しました。また、令和6年度には、障がい芸術を用いた先進的な取組をしている民間企業を交えたトークイベントを新たに開催し、障がい者による創作活動への理解促進に取り組みしました。
- ・ デジタル展覧会を開催し、多くの方が本県の作家たちによるアール・ブリュット作品に触れる機会を創出しました。

「第4期岩手県文化芸術振興指針」に基づく令和7年度の取組状況について

《施策の柱》

1 岩手の特徴を生かした文化芸術の振興と交流の推進 (1) 東日本大震災津波からの復興と復興の絆を生かした文化交流の推進 (2) 世界遺産の保存管理・活用と拡張登録に向けた取組の推進 (3) 世界遺産を活用した文化観光の推進 (4) 民俗芸能の保存・継承の支援 (5) 文化財等の保存と活用 (6) 文化をめぐる新しい動きへ対応した取組の推進	2 県民誰もが文化芸術を鑑賞、参加、創造できる環境の整備 (1) 県民の文化芸術活動の推進 (2) 優れた芸術活動や美術活動への顕彰の実施 (3) 児童生徒の文化芸術の鑑賞の機会の提供と文化芸術活動の支援 (4) 若者の文化芸術活動の支援 (5) 高齢者の文化芸術活動の支援 (6) 障がい者による文化芸術活動の支援 (7) デジタル技術を生かした鑑賞機会の充実	3 日常生活を豊かにする文化芸術情報の発信 (1) 県文化芸術ホームページやSNSなどによる情報の発信 (2) 自治体広報誌・生活情報誌への文化芸術情報の掲載 (3) 文化観光の取組を生かした情報の発信 (4) 国内外における公演や展示などへの支援 (5) 大型イベントなどを活用した文化プログラムの実施	4 障がい者による文化芸術活動の総合的推進 (1) 障がい者による創作性あふれる創作活動の支援 (2) 文化芸術活動を発表・鑑賞できる機会の充実 (3) 県文化芸術ホームページやSNSなどによる情報発信 (4) 自治体広報誌・生活情報誌への文化芸術情報の掲載 (5) 岩手県文化振興基金による文化芸術活動の支援	5 文化芸術活動を総合的に支援する体制の構築 (1) 文化芸術活動の活性化を図るための支援 (2) 文化芸術を生かした地域づくりに取り組む人材の育成 (3) 岩手県文化振興基金による文化芸術活動の支援 (4) 県立文化施設の整備や機能の拡充 (5) 官民一体による文化芸術推進体制の構築
---	--	---	--	--

番号	施策の柱との関連					事業名	事業概要	当初予算額 (千円)	取組状況
	1	2	3	4	5				
1		●				いわて暮らしの文化特別知事表彰	文化芸術活動を奨励するため、県民の日常生活に密着した文化的・芸術的な活動に、長年にわたり取り組んだ者等を対象とした顕彰を実施	294	・被表彰者を決定の上、年度内に表彰式を実施予定
2			●		●	地域文化芸術活動支援事業費	本県の特徴ある文化資源を国内外に発信するため、ホームページ「いわての文化情報大事典」を運営	3,380	・ホームページ、Facebook、X（エックス）を活用した文化芸術情報を発信 ・「いわての文化情報大事典」掲載情報の精査
3	●	●	●			民俗芸能伝承促進事業	民俗芸能の保護・伝承活動の普及啓発を図るため、『北海道・東北ブロック民俗芸能大会』に本県の団体を派遣	679	・R7.10.26 『北海道・東北ブロック民俗芸能大会』（盛岡市） ・本県からは、南日詰大神楽保存会（紫波町）及び川西大念佛剣舞保存会（奥州市）が出演予定
4		●				文化芸術創作活動奨励事業費	文化芸術活動を奨励するため、優れた芸術・美術活動を行った本県在住者等を対象とした顕彰を実施	1,341	・岩手県芸術選奨及び岩手県美術選奨について、選考委員を任命して選考委員会を開催（R7.10月下旬 表彰式開催予定）
5	●				●	文化芸術の力を生かした地域づくり事業費	文化芸術の更なる推進に向けた連携体制を構築し、中学校の部活動の地域移行など文化芸術に係る課題の解決や、教育・福祉・観光等の他分野との連携による地域活性化を推進	10,743	・「官民一体による文化芸術推進体制」に向けた関係団体等からの意見聞き取り等 ・部活動地域移行に係る実証事業の実施（大船渡市、一戸町） ・文化芸術を支える人材の育成を目的とした「アートマネジメント研修」の開催（5/27実施（チラシ添付）、年2回予定） ・地域の文化芸術団体に対する部活動地域移行に関する意向調査の実施
6	●	●	●			いわてメディア芸術資源活用推進事業費	国内外に本県の魅力を発信するため、マンガやアニメを活用した情報発信や交流事業を実施。	6,419	・『ミセテイワテ動画コンテスト』の開催 募集期間：R7.7.4～11.4 募集部門：チャレンジ部門（31秒以上3分以内） インスタ部門（30秒以内） 表彰式：R8.2月（予定） ・R7.7.12 中国影絵劇チームを対象とした4コママンガワークショップの開催 ・R7.7～8 「コミックいわてWEB」フランス語版・中国語版の新作の配信 ・R7.9.3 ハロウ安比校での4コママンガ講座の開催（予定） ・R7.9 中国・雲南事務所と連携したオンライン4コママンガ講座の開催（調整中） ・R7.11 「コミックいわてWEB」英語版の新作の配信、冊子の制作 ・R7.11.8～9 日本博2.0「アニメ＆まんが聖地EXP02025」への出展
7					●	地域文化芸術活動支援事業	4広域振興圏へ岩手県文化芸術コーディネーターを設置するなど、地域の文化芸術支援体制を整備	3,380	・4広域振興圏に文化芸術コーディネーターを設置 ・文化芸術コーディネーターが地域の課題を洗い出した上で、地域の実情に応じた文化芸術に係る地域課題の解決に向けた支援を行うための事業を実施 （いわて文化共創プロジェクト支援事業の実施、文化芸術と他分野との連携モデル事業の実施、地域の芸術文化活性化に向けた研修会開催、文化芸術団体の発表機会拡大のためのマッチング支援事業）
8		●				一般財団法人地域創造負担金	一般財団法人地域創造（地域文化の振興に資するための全国組織として設立）の運営費の一部を負担、同財団から県内文化芸術活動へ助成	6,294	・地域の文化・芸術活動助成事業。財団から2事業8,800千円（盛岡市文化振興事業団、北上市文化創造）が助成決定 ・地域伝統芸能等保存事業。財団から1事業300千円（大槌町）が助成決定
9	●	●				復興の絆を活かした文化芸術による次世代育成事業	これまで本県と文化芸術団体が培ってきた東日本大震災津波からの復興の絆を活かし、県民が優れた文化芸術に親しむ機会の充実や文化芸術活動発表の機会を広げるとともに、沿岸被災地における地域コミュニティの再生と人的交流・文化的交流を促進 県内の子ども達と一流の文化芸術団体の共演等を通じて、子ども達が文化芸術に触れ合う機会を創出	6,918	・『楽しいオーケストラin岩手』の開催 場所：盛岡市（トーサイクラシックホール岩手 大ホール） 開催日：R7.8.6 ・『さんりく音楽祭』の開催 場所：沿岸地区3市町村 開催日：R8.2.21～2.23（予定）
10	●	●		●		障がい者芸術活動支援事業費 （障がい者芸術活動支援センター運営事業費）	障がい者芸術活動の振興を図るため、「障がい者芸術活動支援センター」を設置し、相談窓口の開設やワークショップによる支援者育成、権利保護に関する研修会の開催等、障がい者の文化芸術活動を総合的に支援	9,480	1（社福）岩手県社会福祉事業団に運営委託し、相談対応や各種研修会等を実施 2 『第33回岩手県障がい者文化芸術祭』を実施予定 (1)作品展示：R7.11.13～12.7 ふれあいランド岩手 (2)ふれあい音楽祭：R7.12.6 ふれあいランド岩手 (3)記念式典（表彰式）：R7.11.30 ふれあいランド岩手

《施策の柱》

1 岩手の特徴を生かした文化芸術の振興と交流の推進 (1) 東日本大震災津波からの復興と復興の絆を生かした文化交流の推進 (2) 世界遺産の保存管理・活用と拡張登録に向けた取組の推進 (3) 世界遺産を活用した文化観光の推進 (4) 民俗芸能の保存・継承の支援 (5) 文化財等の保存と活用 (6) 文化をめぐる新しい動きへ対応した取組の推進	2 県民誰もが文化芸術を鑑賞、参加、創造できる環境の整備 (1) 県民の文化芸術活動の推進 (2) 優れた芸術活動や美術活動への顕彰の実施 (3) 児童生徒の文化芸術の鑑賞の機会の提供と文化芸術活動の支援 (4) 若者の文化芸術活動の支援 (5) 高齢者の文化芸術活動の支援 (6) 障がい者による文化芸術活動の支援 (7) デジタル技術を生かした鑑賞機会の充実	3 日常生活を豊かにする文化芸術情報の発信 (1) 県文化芸術ホームページやSNSなどによる情報の発信 (2) 自治体広報誌・生活情報誌への文化芸術情報の掲載 (3) 文化観光の取組を生かした情報の発信 (4) 国内外における公演や展示などへの支援 (5) 大型イベントなどを活用した文化プログラムの実施	4 障がい者による文化芸術活動の総合的推進 (1) 障がい者による創作性あふれる創作活動の支援 (2) 文化芸術活動を発表・鑑賞できる機会の充実 (3) 県文化芸術ホームページやSNSなどによる情報発信 (4) 自治体広報誌・生活情報誌への文化芸術情報の掲載 (5) 岩手県文化振興基金による文化芸術活動の支援	5 文化芸術活動を総合的に支援する体制の構築 (1) 文化芸術活動の活性化を図るための支援 (2) 文化芸術を生かした地域づくりに取り組む人材の育成 (3) 岩手県文化振興基金による文化芸術活動の支援 (4) 県立文化施設の整備や機能の拡充 (5) 官民一体による文化芸術推進体制の構築
---	--	---	--	--

番号	施策の柱との関連					事業名	事業概要	当初予算額 (千円)	取組状況
	1	2	3	4	5				
11	●	●		●		いわてアール・ブリュット未来創造事業費	障がい者の創作意欲の醸成を図るとともに、県民の障がい者文化芸術への関心を高め、共生の土壌を拡大して岩手の魅力向上につなげるため、県内の優れた作品を集めた巡回展や、若年層などの理解が十分でない層を対象とした創作活動の現場見学体験を実施	3,677	1 『アール・ブリュット巡回展2025』を実施予定 (1)いわて子どもの森タイアップイベント：R7.10.1～10.6開催（予定） (2)盛岡会場：R7.12.19～12.28開催（予定） (3)宮古会場：R8.1.16～2.1開催（予定） 2 『創作活動の現場見学体験』を実施予定 (1)第1回目：R7.8.25実施（予定） (2)第2回目：R7.12月実施（予定）
12		●				高齢者文化活動振興事業費補助	高齢者による文化芸術活動の振興、生きがいと健康づくりを推進するため、『岩手県長寿社会健康と福祉のまつり』開催に要する経費を支援	1,915	・R7.6.6～6.8 岩手県民長寿文化祭作品展（盛岡市民文化ホール） ・R7.7.13 岩手県民長寿文化祭将棋大会（北上将棋センター） ・R7.12.7 岩手県民長寿文化祭囲碁大会（岩手教育会館）
13	●	●	●			いわての民俗芸能活性化交流促進事業費	民俗芸能の保存・継承や後継者の育成等を図るため、『民俗芸能フェスティバル』を開催	2,752	・R7.12.13 「岩手県民俗芸能フェスティバル」（トーサイクラシックホール岩手（岩手県民会館）で開催、県内8団体の出演を予定）
14		●			●	青少年芸術普及事業	子どもたちが等しく優れた文化芸術に触れる機会を確保するため、県内各地で開催される芸術鑑賞会に要する経費を支援	2,525	・17市町村19公演実施予定
15	●	●				被災地児童生徒文化芸術支援事業費	被災地における児童生徒の文化芸術活動の鑑賞を促進するため、文化芸術イベント等の参加に要する経費を支援	850	・R7.7.15 大槌町立吉里吉里中学校 （8名、岩手県立博物館「星にねがいを—宇宙といわての年代記—」） ・R7.10.5 大船渡市立大船渡北小学校（予定） （芸術体験イベント「子ども芸術発表会」）
16	●	●	●	●		岩手芸術祭開催費	県民の優れた文化芸術活動の発表の場と鑑賞の機会を確保するとともに、文化芸術に親しむ機会の充実を図るため、本県最大の文化芸術の祭典『岩手芸術祭』等を開催	19,401	・R7.10～R8.2 県民会館をメイン会場として開催（美術展、舞台公演、等） ・主に以下の催事の開催を予定 『総合フェスティバル』（R7.10.4） 『芸術体験イベント』肴町アーケード（R7.9.27～R7.9.28） トーサイクラシックホール岩手（R7.10.4～R7.10.5） 『芸術体験フェスタ in北三陸』久慈市文化会館アンバーホール（R8.1.16～18）
17		●	●	●		文化芸術イベント等映像配信事業費	文化芸術活動を推進するため、岩手芸術祭『総合フェスティバル』などの県主催事業等において配信を実施	2,678	・上記「岩手芸術祭開催費」、「いわての民俗芸能活性化交流促進事業費」、「いわてアール・ブリュット未来創造事業費」各事業での映像配信等を実施
18		●				文学の国いわて推進事業費	本県における文芸活動の振興を図るため、本県ゆかりの作家による講演会等を開催	9,875	・R7.11.15 阿部暁子氏（2025年本屋大賞受賞）による講演会の開催（予定） ・R7.11～R8.1 高校生や大学生等を対象とした『文学の国いわて塾』の開催 （集合・オンライン形式・2回開催）（調整中） ・R8.2 読書意識の醸成につなげるため、小学校高学年向けの岩手オリジナル教材（副読本）の制作
19				●		県民会館管理運営費	岩手県民会館の管理運営に要する経費（指定管理料）	202,106	・指定管理者（（公財）岩手県文化振興事業団）による岩手県民会館の管理運営を実施
20				●		県民会館施設整備費	文化芸術活動の発表・鑑賞に係る安全・安心な環境づくりを推進するため、県民会館における改修等を実施	262,427	・電力制御中央監視装置更新工事の実施 ・大ホール電動吊物装置更新工事の実施
21				●		公会堂管理運営費	岩手県公会堂の管理運営に要する経費（指定管理料）	21,720	・指定管理者（希望橋グループ）による岩手県公会堂の管理運営を実施
22				●		公会堂施設整備費	文化芸術活動の発表・鑑賞に係る安全・安心な環境づくりを推進するため、公会堂における改修等を実施	21,827	・大ホールの構造部材調査及び屋上防水塗装工事の実施 ・保存活用計画策定に関する協議会（仮称）の開催

<<施策の柱>>

1 岩手の特徴を生かした文化芸術の振興と交流の推進 (1) 東日本大震災津波からの復興と復興の絆を生かした文化交流の推進 (2) 世界遺産の保存管理・活用と拡張登録に向けた取組の推進 (3) 世界遺産を活用した文化観光の推進 (4) 民俗芸能の保存・継承の支援 (5) 文化財等の保存と活用 (6) 文化をめぐる新しい動きへ対応した取組の推進	2 県民誰もが文化芸術を鑑賞、参加、創造できる環境の整備 (1) 県民の文化芸術活動の推進 (2) 優れた芸術活動や美術活動への顕彰の実施 (3) 児童生徒の文化芸術の鑑賞の機会の提供と文化芸術活動の支援 (4) 若者の文化芸術活動の支援 (5) 高齢者の文化芸術活動の支援 (6) 障がい者による文化芸術活動の支援 (7) デジタル技術を生かした鑑賞機会の充実	3 日常生活を豊かにする文化芸術情報の発信 (1) 県文化芸術ホームページやSNSなどによる情報の発信 (2) 自治体広報誌・生活情報誌への文化芸術情報の掲載 (3) 文化観光の取組を生かした情報の発信 (4) 国内外における公演や展示などへの支援 (5) 大型イベントなどを活用した文化プログラムの実施	4 障がい者による文化芸術活動の総合的推進 (1) 障がい者による創作性あふれる創作活動の支援 (2) 文化芸術活動を発表・鑑賞できる機会の充実 (3) 県文化芸術ホームページやSNSなどによる情報発信 (4) 自治体広報誌・生活情報誌への文化芸術情報の掲載 (5) 岩手県文化振興基金による文化芸術活動の支援	5 文化芸術活動を総合的に支援する体制の構築 (1) 文化芸術活動の活性化を図るための支援 (2) 文化芸術を生かした地域づくりに取り組む人材の育成 (3) 岩手県文化振興基金による文化芸術活動の支援 (4) 県立文化施設の整備や機能の拡充 (5) 官民一体による文化芸術推進体制の構築
--	---	--	---	---

番号	施策の柱との関連					事業名	事業概要	当初予算額 (千円)	取組状況
	1	2	3	4	5				
23	●					ソフトパワーいわて戦略推進事業費 (マンガ郷いわて推進事業費)	国内外で注目度が上昇している「マンガ」を活用し、民俗芸能、工芸、食文化など本県の魅力を発信するとともに、交流人口・関係人口の拡大に向けた取組を推進	10,224	・コミックいわてWEBで新規マンガの配信（11作品） ・単行本「コミックいわて」第6～9巻、第14巻の電子書籍化 ・『第15回いわてマンガ大賞コンテスト』の開催 募集期間：R7.6.20～9.22 募集部門：一般部門（ストーリーマンガ）、1～4コマ部門、イラスト部門 表彰式　：R8.1月開催予定
24	●					世界遺産価値普及事業費	世界遺産である「平泉」、「橋野鉄鉱山」及び「御所野遺跡」の理念・価値等の理解を促進するため、情報発信等の取組を実施	4,666	・知事や職員による『世界遺産出前授業』（実施校：26校、受講者：1,281名　予定） ・教員等を対象にした『世界遺産教員現地研修会』（各世界遺産で実施予定） ・世界遺産パネル巡回展の開催（県内6カ所、県外2カ所　予定） R7.10.11～12　「いわて世界遺産まつりin釜石」を釜石市民ホールで橋野鉄鉱山世界遺産登録10周年記念の取組として開催
25	●					平泉世界遺産登録推進事業	「平泉の文化遺産」の世界遺産拡張登録に向けて、推薦書作成に係る研究や資料作成、専門家委員会の開催のほか、平泉の文化遺産を確実に保全するための保存管理の取組を実施	42,581	・世界遺産拡張登録に向けた推薦書（案）の作成 ・関係市町と連携して、世界遺産「平泉」及び関連資産の一体的な保存管理、調査研究、活用及び発信等を行っていくため、「ひらいずみ遺産」の取組を推進
26	●					世界遺産保存活用事業費	本県に所在する3つの世界遺産「平泉」「橋野鉄鉱山」「御所野遺跡」の保存管理及び活用の取組を推進	9,631	・3つの世界遺産が所在する市町と連携し、保存管理及び活用の取組を推進 ・「平泉」の資産及び関連資産の確実な保護を図るため、関係市町と連携し保存管理の取組を推進 ・「明治日本の産業革命遺産」の世界遺産協議会及び「北海道・北東北の縄文遺跡群」の世界遺産保存活用協議会の構成団体として、保存管理及び活用の取組を推進
27	●					「平泉の文化遺産」文化観光推進事業費	平泉の世界遺産及び平泉町・一関市・奥州市に所在する関連資産等の文化遺産を活用した文化観光に関する取組を通じ、関係人口の創出及び地域の活性化を図る	21,051	・関係市町や民間事業者等と連携しながら、文化観光推進法に基づく地域計画に沿って、ガイドンスセンターのゲートウェイ機能の強化に向けてWEBサイトの再構築、多言語対応の充実など、文化観光の取組を実施
28	●					平泉世界遺産ガイドンスセンター管理運営費	「平泉」の価値を広く世界中に伝え、人類の共通の財産として後世へと継承するための拠点施設となる岩手県立平泉世界遺産ガイドンスセンターの管理運営に要する経費	73,976	・R7.8.2～11/30　企画展「清衡と後三年合戦絵巻」 ・R7年度から第2期指定管理者（アクティオ株式会社）による管理運営を実施
29					●	岩手県文化振興基金助成事業 ※岩手県文化振興事業団実施事業	県内の文化芸術活動の一層の活性化を促進するため、岩手県文化振興基金を基に、文化芸術団体が行う自主的活動に対する助成を実施	—	・応募件数　51件　21,826千円 ・採択件数　41件　16,566千円